

鳥獣被害防止総合支援事業の評価報告（平成26年度報告）

事業実施主体名：外ヶ浜町鳥獣被害防止対策協議会

（構成市町村：外ヶ浜町）

1. 被害防止計画の特徴等

ニホンザルの被害が多いため、猟友会、農業者団体、集落代表等と連携して捕獲体制の整備に努める。また、地域住民と連携し、花火等を活用した追い払い活動を実施するとともに、銃器・箱わなや電動ガンを活用し被害の軽減を図る。

2. 事業効果の発現状況

町内各地区において、ニホンザルに対し地域住民と連携しながら花火による追い払いを実施した。また、農作物被害を受けた個人農家で魚網による防護に取り組んでいる例もあるが効果が薄いため、電気ネット式の防護柵を設置し十分効果が得られたが、電気柵を設置していない個所では実施隊員による銃器・箱わなによる捕獲を実施した。

なお、緩衝帯の設置など町内各地区においてニホンザルが出没しにくい環境をつくった結果、ニホンザルの出没が少なくなるなど、追い払い効果を発揮した。

3. 被害防止計画の目標達成状況

ニホンザルによる被害は、電気柵の設置等により設置ほ場の被害が無くなったものの、他地域で被害が発生したことから被害面積は目標を達成したが、被害金額は目標を達成出来なかった。

4. 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額（万円）			被害面積（ha）			
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
外ヶ浜町鳥獣被害防止対策協議会	外ヶ浜町	H23～H25年度	ニホンザル	電気柵整備2箇所	平館地区 150m	外ヶ浜町鳥獣被害防止対策協議会	H24.10～	100%	花火等による追い払いは効果があるが、慣れることにより、追い払い効果は薄くなる傾向にある。 また、電気柵の設置は、被害の防止に顕著な効果が見られ、設置した農地へのニホンザルの侵入は激減したものの、未設置の地区での被害が増加する傾向にある。 その他、銃器等による追い払い、調整に関しては、確実に効果があることが確認されたものの、出没地域や時間を正確に把握する必要があり、生息数や行動域の調査を実施したが、調査回数が少ないため、今後更に情報を収集して調査報告を基に効率的に活動できるように努める。	ニホンザル	19.74万円	24.39万円	45%	0.74ha	0.47ha	184%
				H23平館地区 (実証試験) H24三厩地区	三厩地区 200m											
				花火による追い払い (H23)	8連480発 ロケット 1,200発											
				発信器の購入・装着	H23 5基 H24 3基 H25 7基											
				銃器等による追い払い・調整(H24～H25)	H24 38人 H25 45人											
生息域等調査 (H23・H25)	町内全域	合計														

注：被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合せて他の欄も記載する。

5. 第三者の意見

鳥獣保護員 記田慶市	ニホンザルの農作物への被害等を減少させていくために、電気柵の設置や箱わなによる捕獲が効果的であるが、農家(受益者)の経費負担や費用対効果の面からは銃器等による捕獲が一番効果が高いと考えられる。
---------------	--